

立夏の候、さわやかな新緑が映える季節となりました。

後援三徳会の皆様におかれましては、益々ご清祥のことと存じます。

本年四月一日付けで本校の校長として着任をいたしました増田年克と申します。どうぞよろしくお願いたします。

まずは、旧役員の皆様には、この一年間、子どもたちのため、学校のために多大なるご尽力をいただきましたことに心から感謝を申し上げます。皆様の温かい支えがあったからこそ、生徒たちは安心して学習や行事に取り組むことができました。本当にありがとうございました。

新年度がスタートして約一か月。登校してくる生徒の澁漑とした様子や授業中の活発な発言を聞くたびに、私は素晴らしい学校に赴任できた喜びをかみしめています。「学力向上進学重点校」「スーパーサイエンスハイスクール」という二つの指定を受け、引き続き、「探究的な学び」を軸に据えて、<広い視野をもち新たな価値を創造する、次世代を担うリーダーの育成>を目指し、教職員一同、全力で教育活動に邁進する所存です。

さて、私が学校経営にあたり大切にしたいと考えているのは、「開かれた学校」であることです。それを実現するために、私は皆様との対話を大事にしたいと思っています。その第一歩ともなりますが、私は在席しているときには、校長室の扉を開放しています。生徒の声、教職員の声、そして保護者の皆様の声にしっかりと耳を傾けて、その一つ一つを学校経営に生かしていきたいと考えています。学校にいらした際には、どうぞご遠慮なく校長室をのぞいてみてください。特別な用事がなくても構いません。「今、学校の様子はどうですか」「子どもたちはどんなこと頑張っていますか」など、何気ないお話から、皆様が抱えている不安やご意見など、直接お聞かせいただければ幸いです。

教育には、学校と家庭、そして地域が同じ方向を向いて歩む「共育」が大切です。学校だけで子どもたちを育てることはできません。保護者の皆様と私たち教職員が、風通しの良い関係を築いて、手を取り合っていくことが、子どもたちにとって最善の環境になると信じております。

子どもたちの緑高での学びを支えるパートナーとして、後援三徳会の皆様には、引き続きのご理解とご協力を賜りたく、この総会資料につきましてご審議くださいますようお願いいたします。